

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（2022年7月25日再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前6日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。競技・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) 競技終了後、移動の前に、マスクを着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (12) 食事は、観客席のみで、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有の、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2022
二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟
競技委員長 鈴木 浩二
A S 委員長 本間 三和子

1. 大会について

- (1) 日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2022 は選手の健康を第一に考えるとともに会場での感染拡大防止のために、事前申請により発行された大会関係者およびクラブ関係者席の AD カードを所持しない一般の方の水泳場内への入場・観戦はできない。(チケット販売は行わない。)
- (2) 本大会は感染防止のために全日程を通じてプールエリアへの入退場を完全入替制とする。事前登録により選手、コーチに AD カード(大会身分証)を発行し、競技日程により入退場規制を行う。
- (3) 本大会関係者は、新型コロナ感染防止対策として(公財)日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン (2020年6月15日(公財)日本水泳連盟ホームページ公表)」を順守する。感染拡大防止対策に関し、施設内では係員の指示に従うこと。
- (4) 「大会の参加に当たって」の条件に加え、別紙「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について (2022/07/25 再通知)」に従うこと。※来場 72 時間以内 (正当な理由がある場合は最長 1 週間以内) のウイルス検査 (PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など) を行い、陰性を確認する (陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要)。など。
- (5) 本大会期間中に大会関係者の中で体調不良者や発熱者や感染の疑いが発生した場合には、直ちに大会本部に報告し、指示に従うこと (発熱者は医務室に直接立ち入ることはできない)。大会の開催継続については日本水泳連盟が判断する。
- (6) 本大会に関する追加連絡は整い次第、順次 (公財) 日本水泳連盟本大会ホームページ (以下 HP という) に掲載する。大会関係者は随時 HP を確認すること。

2. 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、大会を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更、省略して実施する。
- (2) 本大会は、全ての競技について映像で記録する。
- (3) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (4) 全ての競技は、100 点満点とする。
- (5) 感染予防策の強化として、8月9日(火)に予定していた監督者会議は中止する。質疑については別途、クラブ責任者宛に通知する方法で受け付けすることとし、監督者会議資料・Q&A を HP に掲載する。
- (6) 出場順の抽選は8月9日(火) 13:00、AS13.7に基づき、審判長立ち合いのもとプールサイドにて公開で行う。クラブ関係者は公開抽選に立ち合うことができる。抽選結果は 16:00 を目処に、暫定のスタートリストとして公式サイトで公開予定。会場内の公式掲示板にも掲示する。
感染予防策の強化として、抽選は「出場選手名と出場順を記載した紙の引き合わせ」ではなくコンピューター抽選とする。事前にコンピューター抽選にて種目別に5パターンを準備、レフリーが1~5のパターン抽選を行い、各一つを選択する。
テクニカルルーティンで出場順 1 番を引いた男子ソロ・ソロ・デュエット・チームは、フリールーティンが同メンバーの場合のみ、その種目に限り出場順 1 番は免除される。フリーコンピネーションで出場順 1 番を引いたチームは、ハイライトルーティンにおいて同メンバーの場合のみ出場順 1 番は免除される。
- (7) 監督者会議に予定していたプログラムの訂正、SEIKO リザルトシステムの登録情報の確認につ

いて、8月9日(火)公式練習時間内に関係資料を選手受付で受け取り、各グループの練習終了時間(最終グループ8は18:00)までに選手受付へ提出する。

- (8) ソロテクニカル・デュエットテクニカルの2種目にプレスイマーをおく予定
- (9) JAPAN Junior チームが男子ソロフリー1、ソロテクニカル(男子とは規定エレメンツが異なるため女子の最終順に男子1が出場する)、デュエットテクニカル(2組のうち1組はミックスデュエット規定要素を用いることから、デュエットテクニカルセッションの最終順に出場する)、デュエットフリー、チームテクニカル、チームフリー、フリーコンビネーションにオープン出場する予定。出場順抽選には含むが、ランキングには含まない。
- (10) 本大会では全日程を通じて競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から30分以内にクラブ代表コーチが、文書で審判長(レフリー)に提出する。
- (11) 競技中、コーチは1ルーティンにつき2名までコーチ席に立つことができる。補欠選手はコーチ席に立つことはできない。コーチ席では密接にならないよう間隔を空けて立ち、演技を確認すること。
- (12) 常にADカードを携帯すること。
- (13) 本人確認のため、招集所にADカードを持参すること。招集所では十分な間隔を空けて並ぶ。招集所まではマスク着用のこと。(マスク保管用にクラブ名・名前が入った袋を各自用意すること。)
- (14) 招集所で点呼を受け、指示に従いADカードを提出し、マスクはコーチが保管する。選手はひとつ前の演技時に、スタート位置へ移動して待機する。

3. エントリー変更・棄権申請について

- (1) エントリー時に補欠登録をした組については、メンバー変更の有無に関わらずエントリー切時刻(競技開始2時間前)に、所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。エントリーボックスは選手入口付近に設置する。
- (2) 棄権する場合は、エントリー切時刻(競技開始2時間前)に所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。エントリー切時刻を過ぎてやむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (3) 本大会では「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」に従い、万が一、発熱等の特別な事情により出場できないメンバーがいた場合は残りのメンバーで正規の出場を可能とする。次のガイドラインを確認の上、対応が必要となったクラブは所定の方法で申請すること。尚、特別な事情を除き、エントリー変更・棄権申請については競技規則を適用し、種目変更やオープン出場は認められない。また、申込金は返金されない。

■エントリー変更・棄権に関するガイドライン

- ①男子ソロ・ソロ・デュエットに関して、出場できない場合、理由を問わず競技規則を適用する。
男子ソロ・ソロ：棄権扱い
デュエット：補欠がいる場合は補欠で補う。補欠がない場合は棄権扱い。
- ②チームテクニカル(TT)・チームフリー(TF)・フリーコンビネーション(FC)・ハイライトルーティン(HR)について、特別な事情で出場できない場合、次の本大会特別措置を適用する。

【特別な事情】

- A：「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」に従い、来場できない選手がいることにより、TT・TF・FC・HRの人数がエントリー人数と変更になる場合。
- B：発熱等により、会場へ入場不可となった、または出場できなくなった場合。

【特別措置】

TT・TF・FC・HRについて、補欠がいる場合は補欠で補う。
補欠がない場合または補欠を入れてもエントリーした人数に足りない場合、TT・TF 4名以上、FC・HR 8名以上で泳げる場合には正式出場を認める。人数に満たない場合は棄権扱い。

【申請方法】

- Aの場合：8月8日(月)12:00までに「特別措置申請書(棄権申請)」「特別措置申請書(エントリー申請)」をメールで提出、プール到着後、原本をエントリーボックスに提出すること。
※「特別措置申請書」に関する詳細は、別途、出場クラブ責任者宛にメールで通知する。

Bの場合：文書で証明された場合のみ認められる。発症した時点で直ちに「特別措置申請書（棄権申請）」「特別措置申請書（エントリー申請）」をレフリーに提出する。

4. 表彰について

- (1) 表彰式は各種目とも正式結果発表後に行う。
- (2) 各種目1位～3位にメダルを授与し表彰する。（実際に泳いだ選手にのみ授与する）
- (3) 選手の所属が複数ある場合においても、競技会ではひとつの所属を選択して出場すること。表彰式では、種目ごとに異なる所属のウェアを着用してはならない。

5. 競技日程

- (1) 競技日程・競技時間についてはホームページ掲載の別紙参照。
- (2) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (3) 開会式、開始式は行わず、開式通告のみとする。
- (4) 8月12日（金）チームフリー終了後、世界選手権金メダリスト乾友紀子のエキシビションを行う。
- (5) 競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。

6. 公式練習・練習時間について

- (1) 練習日程・時間についてはホームページ掲載の別紙参照。
- (2) 8月9日（火）公式練習では曲かけ練習を行う。
- (3) 公式練習時では密にならないよう、クラブ・グループ別に時間指定の入替制とする。
- (4) 練習エリアはメインプール競技エリア・競技エリア外、ダイビングプールの指定輪番制とし、いずれも競技時間中は練習できない。サブプールは全日程を通じて練習時間内はフリー練習（アクロバティック動作禁止）とする。
競技時間中はダイビングプールの一部およびサブプールにて個人でのウォーミングアップとクールダウンのみ使用可とする。但し、ダイビングプールはスイムのみとし、サブプールはスイムに限らないが、コーチングや集団練習は行わないこと。（アクロバティック動作禁止）
- (5) 全日程を通じて各競技開始前にウォーミングアップ時間を設ける。全エリア、該当競技出場者のみ練習可。
- (6) マスクをしていない選手と対面で会話するコーチは、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。

7. 入場、退場について

- (1) 選手・コーチは大会会場・プールエリア入退場の際、事前申請により発行されたADカードを常に携帯、提示する。選手・コーチ責任者の氏名入りADカードは本人のみ使用可。ADカードを発行されていないコーチは、大会会場・プールエリアへ入場できない。
- (2) 「健康チェック表」の提出について
 - ① HP からダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日大会会場への入場時に提出すること。
 - ② 大会期間中、外出後の再入場の際は、入場口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。
 - ③ 「健康チェック表」には以下の通り記載すること。
体温・体調：入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
責任者確認：上記の記入に間違いがないことを確認してサイン
 - ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- (3) 大会会場への選手・コーチの入退場口は2F観客席6番入口とし、プールエリアへはダイビング裏の階段を通過してプールサイド・更衣室へ入退場することとする。コーチの待機・食事指定場所は観客席とする。但し、公式練習日は2F観客席6番入口から入場後、荷物を持ったままプールサイドへ移動し、観客席の使用は出来ない。
- (4) 大会会場への入場開始時間を開場、最終退場時間を閉場とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。

開場時の入場は、その日の競技に出場する選手とコーチを最優先とし、規制入場とする。

当日1種目めに入場するクラブは6番入退場口の手前で2列に並び、間隔を充分に開けて待機する。整列後は私語を慎むこと。開場後、場内へ順番に入場する。

- (5) 開場後は2階ダイビング裏踊り場、ADチェックの手前で2列に並び、間隔を充分に開けて待機する。整列後は私語を慎むこと。通告後、順番に入場する。
- (6) プールサイド・更衣室の使用は競技順により制限する。当日競技に出場しない選手は待機のみとし、プールサイド・更衣室の使用は出来ない。
- (7) 入館時の判断基準は【別紙】参照
- (8) シャワー・更衣室の利用について、自身の出場種目外の時間帯はプールエリアへ入場出来ない。各種目とも退場時間までに身支度を済ませて退場すること。
- (9) 複数種目に連続して出場の場合は、プールエリアからの退場はせずに、サブプールのプールサイドでの待機を認める。その場合もプールエリアでの食事、髪あげは更衣室を含めて出来ない。プールエリアへのゼラチンの持ち込みは禁止。

8. ドーピングコントロール

(1) ドーピングコントロール同意書

大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書（JADA）を必要とする。親権者が署名した同意書を大会に持参し携帯すること。18歳未満の者がドーピング検査の対象となった際は当該同意書を担当検査員に提出する。

- (2) 本大会のドーピング検査については、HPの資料を確認すること。

9. 競技・会場施設について

(1) 東京辰巳国際水泳場

① メインプールは50m×25.5m(10レーン) 両端12.5mの水深2.0m、中央25mの水深3.0m
競技エリアはスタート側より30m使用、競技外エリアは反対側20m使用

② ダイビングプールは25m×25m 水深5.0m

③ サブプールは50m×15m(7レーン) 水深1.2~1.4m

- (2) 競技エリアのスタート側から12.5mの水深は最大2.0mとなるため水深を考慮した演技構成とし、安全に十分留意する。
- (3) メインプール男子・女子更衣室は女子選手、サブプール男子更衣室は男子選手およびプール職員、サブプール女子更衣室はJAPAN Junior チームとプール職員が使用する。更衣室は着替えのみに使用する。
- (4) 選手・コーチはクラブ毎に指定された選手席へ荷物を置き、食事、待機場所として使用する。
- (5) 選手・コーチともにプールサイドでの応援・観戦は出来ない。競技時間中、選手・コーチは観客席に設けられた応援席エリア（演技しているクラブのみ使用可。演技終了後は次の演技クラブと交代）に、着席して応援ができる。
- (6) 会場へのアクセスは、公共交通機関を利用する。
- (7) 会場施設、会場内の動線など詳細は、HP掲載の会場平面図・プール図で確認のこと。記載がないものは、監督者会議資料および現地での案内を予定。
- (8) 会場での注意事項
 - ① 公式練習日は観客席の使用不可。大きな荷物はウッドデッキ上の指定エリアに置く。会場内での待機、食事は不可。
 - ② 競技期間中は全員が2F観客席6番入口から入場後、まずは観客席のクラブ指定席に移動する。選手・コーチは指定時間にダイビング裏側の階段からプールエリアへ入場できる。
 - ③ 更衣室は着替えのみに使用し、ロッカーは使用不可。更衣室の滞在時間短縮と密を避けるため、選手はできるだけ水着着用の上、来場すること。
 - ④ プールサイドで選手は裸足、コーチは上履きの使用可。観客席からプールサイドや更衣室に移動する際は、土足をビニール袋などに入れて保管すること。
 - ⑤ 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可、大きな荷物はプールエリアに持ち込まない。必要最小限の荷物のみを持参し更衣室に移動する。選手は各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。ガラス製品は持ち込まないこと。

- ⑥各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違わないようクラブ名・氏名を明記する。プールサイドでの水分補給を認める。飲み物も各自で責任をもって保管すること。
- ⑦食事について、感染予防のため、観客席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。
- ⑧会場内で発声を伴うランドリルは禁止する。
- ⑨プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控え、指導者同士の会話は最小限にする。
- ⑩貴重品はクラブ毎にクラブ責任者が管理する。なるべく持ち込まないこと。
- ⑪毎日出場する1種目めの髪上げはできるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目め以降や宿泊なしで会場入りする場合の髪上げについては観客席で行うことを認める。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- ⑫競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合には、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう、各自の演技終了後、速やかに行うこと。使用後は各自シャワールーム内を清掃すること。
- ⑬メイクアップは観客席で行うことを認める。
- ⑭クラブの横断幕を観客席の指定場所へ掲出できる。指定場所はホームページ掲載の会場図参照。横断幕掲出の際は、設置物を傷つけないよう注意すること。また、クラブ関係者がいない場合、設置・回収時のみコーチの立ち入りを認める。毎日持ち帰る。
- ⑮マッサージベッドは、次の2か所で使用ができる。
 - 1、サブプールのプールサイドの指定エリア。期間中はベッドを置きっぱなしにできる（持ち帰り不要）。但し、使用時間はプールサイドに入場できる各種目の該当時間内および該当競技出場者に限る。
 - 2、2階観客席出入口外側の軒下スペースに置いて使用できる。毎日持ち帰る。このスペースには囲いはない。
- ⑯観客席退出時の片付けを徹底する。ゴミはすべて持ち帰る。

10. テレビ放映・インターネット映像配信

テレビ放映・インターネット映像配信は行わない。

11. 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2022年

<http://swim.seiko.co.jp/artistic/>

※速報はWEB掲載のみとし、クラブ毎の配信は行わない。

12. 大会プログラムについて

大会プログラムは一部1,000円で販売する。

以上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。

入館時の判断基準

